



知性の子

No.12

2026年1月9日(金)



～夢の実現に向けて、気持ち新たに頑張りましょう！～

いよいよ3学期が始まりました。今年の冬休みは、受験生として、いつもと違った過ごし方をしたこと思います。これから日々の生活の中で、今まで感じたことのないような不安や焦りもあると思いますが、“夢の実現”に向け、自分を信じて、1つ1つ積み上げていきましょう。

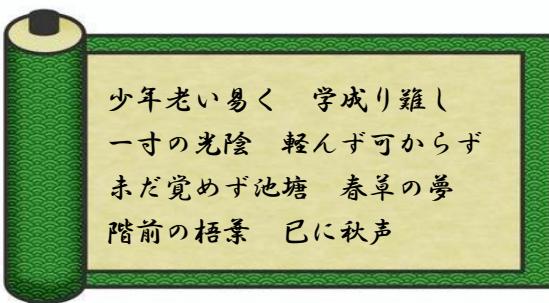
さて、3学期の始まりとして、書き初めの審査が行われました。「旅立ちの春」という文字に一人ひとりの希望や思いが感じられる書き初めでした。笑顔で春を迎えることを願ってやみません。



【校内書き初め展 入賞者】

	金賞	銀賞	銅賞
1組	山上 寧音	小幡寧央乃 折戸 千花	堀野 葵 前川 麻実 米田 芽衣 和田 優衣
2組	岡崎 桃夏	天木 瑛士 谷口 理紗	大林 菖花 杉山 杏奈 寺師あかね
3組	中谷 美月 山根 璃美	川下 紗愛	太田 碧 高橋 心徳 本多 紗菜
4組	下谷 星永	岡本 陽菜 濑那 咲空 西村 環花	大村 玲穂 芝田 怜加 高柳明日真
5組	池田 成良	前田 瑠那	大柳 茉歩 熊田 有莉 富田菜々美 宮元 恋亞

【新年の一言】



少年老い易く 学成り難し
一寸の光陰 軽んず可からず
未だ覚めず池塘 春草の夢
階前の梧葉 已に秋声



階前梧葉已に秋声
未覚池塘春草夢
一寸光陰不可輕
少年易老學難成

若者はアツという間に年をとってしまい、学問はなかなか完成しにくい。だから、少しの時間でも軽々しく過ごしてはならない。

池の堤の若草の上でまどろんだ春の日の夢がまだ覚めないうちに、階段の前の青桐（あおぎり）の葉には、もう秋風の音が聞かれるよう月日は速やかに過ぎ去ってしまうものである。

今、学べることに感謝して、大切に過ごしたいですね。